

小麦・大豆の国産化の推進

【令和5年度予算額 90(100)百万円】
 (令和4年度補正予算額 14,361百万円)

<対策のポイント>

産地と実需が連携して行う**小麦・大豆の国産化を推進**するため、ブロックローテーションや営農技術・機械の導入等による**生産性向上**や**増産**を支援するとともに、国産小麦・大豆の安定供給に向けた**ストックセンターの整備**や**新たな流通モデルづくり**、更なる利用拡大に向けた**新商品開発**等を支援します。

<事業目標> [平成30年度→令和12年度まで]

- 小麦生産量の増加 (76万t→108万t)
- 大麦・はだか麦生産量の増加 (17万t→23万t)
- 大豆生産量の増加 (21万t→34万t)

<事業の内容>

<事業イメージ>

1. 国産小麦・大豆供給力強化総合対策

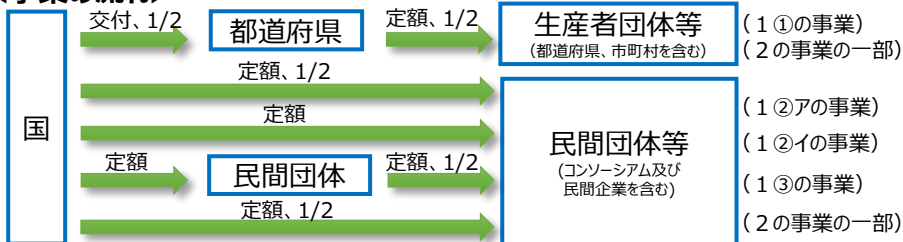
- ① **生産対策 (麦・大豆生産技術向上事業)** **90(100)百万円**
【令和4年度補正予算】5,961百万円
 麦・大豆の増産を目指す産地に対し、水田・畑地を問わず、**作付けの団地化、ブロックローテーション、営農技術の導入**等を支援します。
- ② **流通対策** **【令和4年度補正予算】300百万円**
ア 麦類供給円滑化事業
 国産麦を一定期間**保管**することで安定供給体制を構築する取組を支援します。
イ 新たな麦・大豆流通モデルづくり事業
 麦・大豆の流通構造の転換に向けた**新たな流通モデルづくり**を支援します。
- ③ **消費対策 (麦・大豆利用拡大事業)** **【令和4年度補正予算】100百万円**
 国産麦・大豆の利用拡大に取り組む食品製造事業者等に対し、**新商品開発**や**PR、マッチング**等を支援します。

2. 産地生産基盤パワーアップ事業のうち国産シェア拡大対策 (麦・大豆)

【令和4年度補正予算】8,000百万円

産地と実需が連携して国産麦・大豆の取扱数量を増加させる取組を推進するため、増産に資する**農業機械**や**乾燥調製施設の導入**、不作時にも安定供給するための**ストックセンターの整備**、国産麦・大豆の利用拡大に向けた**食品加工施設の整備**等を支援します。

<事業の流れ>



生産対策



営農技術の導入
(定額)



農業機械の導入
(1/2以内)



乾燥調製施設の整備
(1/2以内)

流通対策



- ・ ストックセンターの整備 (1/2以内)
- ・ 一定期間の保管 (定額、1/2以内)

消費対策



- ・ 新商品の開発 (定額、1/2以内)
- ・ 加工設備・施設の導入 (1/2以内)

麦・大豆の国産化を一層推進

【お問い合わせ先】 (1①、1②イ、1③(大豆)、2の事業)
 農産局穀物課 (03-6744-2108)
 (1②ア、1③(麦)の事業) 貿易業務課 (03-6744-9531)